

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年1月31日現在

### 今月の重点活動

#### ■新規需要米 WCS・飼料用米の安定生産支援

1月13日WCS・飼料用米の取組に係る検討会が八幡町で開催された。この検討会は、JA主催で開催されており、耕種農家・畜産農家・関係機関が参加して、その年の数量や品質、次年度の作付面積や作業料金等を協議している。畜産農家からは「牛の嗜好性が良かった」、「次年度は供給量を増やしてほしい」との意見があった。

農業普及課からは、農薬使用上の留意点について情報提供を行った。今後は、明宝、白鳥町、和良町で順に開催される予定があり、引き続き耕畜連携を支援していく。



【検討会の様子】

### 郡上の農業・農村を支える人材育成

#### ■青年農業士 郡上高校生に農業の現場を紹介

郡上地区青年農業士連絡協議会（会員6名）では、若い世代に郡上市の農業現場の実態を幅広く知ってもらい、将来の職業選択の参考としてもらうために、1月29日に郡上高等学校園芸科学科2年生17名を対象に出前講座を開催した。

当日は青年農業士6名がパネルディスカッションの形式で、「農業を職業として選択した理由」、「郡上市で農業は儲かるのか」について自身の経験、考え方を説明し、高校生と意見交換を行った。

農業普及課では、今後も関係機関と連携して青年農業士や若手農業者の活動を支援していく。



【出前講座の様子】

### 郡上農産物のブランド展開

#### ■夏だいこん、夏秋トマト 座談会等を各地区で開催

郡上管内の各出荷組織が座談会等を開催し、次年度の栽培に向け、使用する資材や栽培計画の確認を行った。毎年この時期に行っているもので、ひるがの高原だいこん生産出荷組合が1月28日に座談会を、郡上トマト部会が1月27～30日に地域別懇談会を開催した。

農林事務所からは、来年度の暦の変更点の説明や、ほ場環境の改善について助言し、シーズンを通して安定した出荷ができるよう提案を行った。

近年、高温化等、難しい生産状況が続いているため、栽培技術の改善により経営の安定化を図りながら、各産地の支援を継続していく。



【懇談会の様子(トマト)】